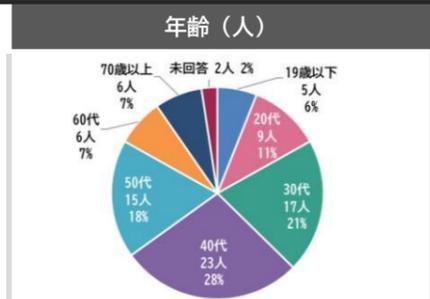
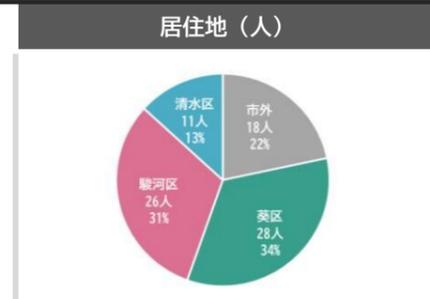


静岡市住生活基本計画（案）に係るパブリックコメント結果概要について

1. パブリックコメント実施概要

- 実施期間 令和4年12月23日（金）～令和5年1月23日（月）
- 周知方法 住宅政策課窓口・各区役所市政情報コーナーへの配架
住宅政策課HP、報道機関への情報提供 等
- 提出方法 郵送、FAX、持参、電子申請
- 意見提出者数 83人（意見総数124件：評価の理由を含む）

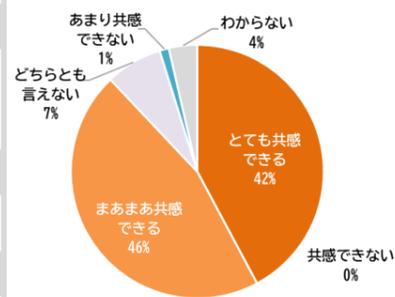
回答の対応分類一覧表	意見数
① 計画に反映するもの	17
② 既に計画案に盛り込み済みのもの、計画を評価していただいたもの	52
③ 計画に反映しないもの	5
④ 個別事業・取組に対する意見で今後の参考とさせていただきもの	26
⑤ その他感想等	24



2. 各基本目標に対する評価とご意見について

基本目標1「安全かつ脱炭素社会に向けた良質な住宅ストックへの更新」について

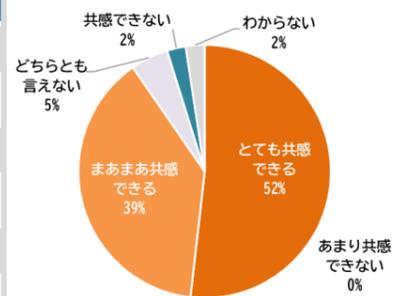
- 共感できる理由（とても共感できる・まあまあ共感できる理由）
 - ・脱炭素社会に向けた取組は必要なことだと感じている。
 - ・今回、清水区における浸水被害を受け、災害対策の重要性を実感した。
- 共感できない理由（あまり共感できない・共感できない理由）
 - ・脱炭素社会という流行語に安易に踊らされている。



- どちらとも言えない・わからない理由
 - ・「安全」と「脱炭素」というのはわかるが、「住宅ストック」という概念がわからない。

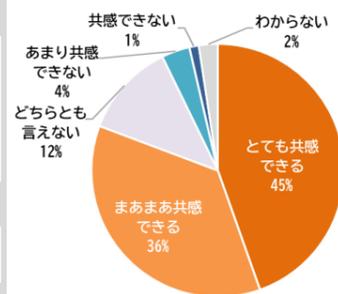
基本目標2「多様な需要と供給がマッチする住宅循環システムの構築」について

- 共感できる理由（とても共感できる・まあまあ共感できる理由）
 - ・需要と供給のマッチは重要 今後ますます増加すると考えられる空き家問題の解決も一緒に行える。
- 共感できない理由（あまり共感できない・共感できない理由）
 - ・今も空き家が多いが、高齢者の方が亡くなって更に増えていきそう。
- どちらとも言えない・わからない理由
 - ・需要に多様性があるかわからないため評価が難しい。



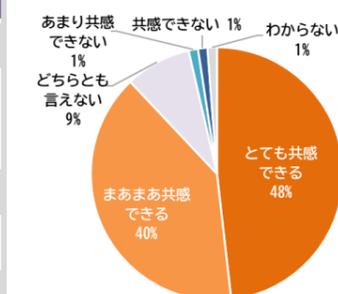
基本目標3「静岡市らしい、地域特性を活かした、安全で魅力ある住まいづくり」について

- 共感できる理由（とても共感できる・まあまあ共感できる理由）
 - ・広大な市域を有する本市の市街地と山間地の均衡ある発展を望む。
 - ・静岡市の立地条件を活かして、都心からも近く、温暖で土地も多くあることから、魅力ある住宅地を整備することはとても共感できる。
- 共感できない理由（あまり共感できない・共感できない理由）
 - ・南海トラフ地震等も地域性に含まれると思うが記載が不十分に思われる。メリットとリスクを適切に記載すべき。
- どちらとも言えない・わからない理由
 - ・「静岡市らしい」の定義がよくわからない。



基本目標4「誰もが安心して暮らせる住生活の実現」について

- 共感できる理由（とても共感できる・まあまあ共感できる理由）
 - ・子育て世帯や高齢者に合った工夫が増えてきていると思う。
 - ・魅力ある住まいには、欠かせないポイントである。
- 共感できない理由（あまり共感できない・共感できない理由）
 - ・誰もが安心なんてありえない
- どちらとも言えない・わからない理由
 - ・建物のことだけでなく、そこに暮らす人々の安心についても明記してほしい



3. 計画案への意見と対応について（抜粋・要約）

※対応分類に、意見に対して本編が対応するページを記載しています

No	意見と市の考え方	対応分類
○ 全体について		
1	・量が多く、理解や把握するのに難しい。 ⇒住まい全般に係る内容のため、内容が多岐に渡りますが、わかりやすくするため、 本編の最初に計画の概要を示すページを追加 しました。また、概要版を作成し、市民の方に伝わりやすいよう修正しました。	①反映 ⇒目次扉
○第3章 施策展開について		
2	・【基本目標1】 目標や施策の方向については適切だと思われる。指標については、二酸化炭素の排出量が（P20の推移からは）達成困難であるように見えるため、達成のためにどのような施策を行うか検討が必要だと感じた。 ⇒脱炭素社会に向けた総合的な取組については静岡市地球温暖化対策実行計画で示しており、同様の成果指標を設定しております。住まいの分野では本計画において 省エネルギー住宅の普及促進 や、 ZEHレベルの省エネ基準に適合する市営住宅の整備 等に取り組んでまいります。今後も、 関連部局と連携 して目標達成のため取組を推進してまいります。	②反映済 ⇒P39 P46
3	・【基本目標1】 今回の台風災害で被害を受けつつも、ご自宅での生活を続けている方と関わりが多くあった。被害の復旧を目的とした活動や工事が終了するまでの間、一時的に避難できる場所が容易に利用できるようになると良い。 ⇒令和4年台風15号における 住まいに関する支援 として、 市営住宅の一時使用、借上げ型応急仮設住宅の提供 、被災された方が一時的に民間賃貸住宅に入居した際の 家賃等への補助 を行いました。本市としても課題として認識しておりますので、今後の対応に活かして参ります。	④参考 ⇒P23 p62
4	・【基本目標2】 空き家らしき住宅が多い気がします。所有者への指導をお願いします。 ⇒管理不全な空き家の 所有者等に対する助言や指導 等を 継続 して行います。また、管理不全な空き家の 発生を未然防止 する対策を 強化 し、空き家問題に取り組めます。	②反映済 ⇒p50
5	・【基本目標3】 「静岡市らしい」の定義がよくわからない。地域特性をもっと考えるべき。 ⇒ 本編及び概要版で、本計画の趣旨を示すページを追加 しましたが、その中でまず本市の特色を簡単に説明するようにしました。そのうえで、第4章「地域特性を活かした住まい方」において、記載を厚くし、基本目標3から第4章に誘導する形に致しました。	①反映 ⇒目次扉 P66~71
6	・【基本目標4】 サービス付き高齢者向け住宅は、高収入で金銭的余裕のある方々しか入居できません。誰でも入居できるようになれば安心です。 ⇒ 高齢者向けに整備した市営住宅 （シルバーハウジング）等もあります。また、今後大規模な市営住宅を建替える時には、 高齢者向けや子育て世帯向けの生活支援施設を併設 していきます。高齢者の方が安心して住まいを確保できるよう、計画を推進してまいります。	④参考 ⇒P61 P63
7	・【基本目標4】 子育て世帯の居住の安定の確保はとても大切だと思います。困窮している子育て世帯は特に支援するべきだと思います。 ⇒市営住宅において子育て世帯向け住戸の整備・入居募集を継続して行ってまいります。また、 民間賃貸住宅を活用した住宅の提供について、検討 を行ってまいります。	④参考 ⇒P60 P63